

対象校No. 752

注4

学校コード F123310106808

注3

設置年度

令和

4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

至学館大学

健康科学部

体育科学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 至学館

令和6年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

健康科学部

＜体育科学科＞

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 至学館

(2) 大 学 名 至学館大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒474-8651
愛知県大府市横根町名高山55番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タニオカ クニコ) 谷岡 郁子 (平成17年11月)		
学 長	(タニオカ クニコ) 谷岡 郁子 (昭和61年6月)		
学 部 長	(タケシタ シュンイチ) 竹下 俊一 (令和3年4月)		
学科長等	(タカハシ ジュンイチロウ) 高橋 淳一郎 (令和4年4月)	(ウエジマ ヒサアキ) 上島 久明 (令和5年4月)	体調不良による変更 (5)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
健康科学部 体育科学科 学士(体育科学)	体育関係	4 年	100 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	400 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	100人 () []	人 () []	100人 () []	人 () []	100人 () []	人 () []	-	1.12倍	一倍	
志願者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	426 () []	人 () []	391 () []	人 () []	359 () []	人 () []				
受験者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	414 () []	人 () []	373 () []	人 () []	351 () []	人 () []				
合格者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	237 () []	人 () []	204 () []	人 () []	212 () []	人 () []				
B 入学者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	105 () []	人 () []	120 () []	人 () []	119 () []	人 () []				
入学定員超過率 B/A	-		-		-		1.05		1.20		1.19					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
・ (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・ (5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	105 [—] (—)	— [—] (—)	120 [—] (—)	— [—] (—)	119 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次									105 [—] (—)	— [—] (—)	117 [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次											102 [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次													
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	105 [—] (—)	— [—] (—)	225 [—] (—)	— [—] (—)	338 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
令和2年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
令和4年度	105 人	0 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
令和5年度	225 人	6 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2名)、家庭の事情(1名)
			令和5年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2名)、家庭の事情(1名)
令和6年度	338 人	0 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
			令和6年度	－ 人	－ 人	
合 計		6 人		6 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{105} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{225} = 2.66\%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{338} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<健康科学部 体育科学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
現代 力 形 成 教 養 基 礎 科 目	人間 力 形 成	大学論	1前	2								2
		人間力形成＜対話・表現系＞	1前		2							2
		人間力形成＜環境・生態系＞	2前		2			1				1
		人間力形成＜公共・社会系＞	2後		2							1
		人間力形成＜政治・経済系＞	3前		2			1				
		人間力形成＜災害・救援系＞	3後		2							2
		人間力形成＜芸術・文化系＞	4後		2							2
		人間力総合演習	1前～4後	2								1
	基礎 教 養	現代人間論＜人間図鑑＞	1前	2								2
		情報基礎演習	1前	2								4
		情報応用演習（含統計処理）	1後		2							3
		英語コミュニケーション＜基礎＞	1前	2				1				4
		英語コミュニケーション＜発展＞	1後		2				1			3
		総合英語	2前		2							3
		韓国語	4前		2							1
		中国語	4前		2							1
		スペイン語	4前		2							1
		科 目	哲学＜読書・鑑賞論＞	1前		2						
	近・現代史		4前		2							1
	人間・社会と法（含社会倫理）		4後		2							2
	留 学 生		日本語＜基礎＞	1前			2					1
		日本語＜発展＞	1後			2					1	
		日本の伝統と現代文化	1後			2					2	
		小計（23科目）	－	10	30	6	0	1	－	0	0	21
専 門 教 育 科 目	（学 部 共 通 学）	健康科学概論（含健康管理）	1前	2			1				1	
		健康心理学	2前	2			1					
		加齢学	3前		2						1	
		健康リフレッシュ学	4後	2							1	
	発 育 発 達	体力測定・評価（含体力論）	2後	2			1					
		発育発達論＜青少年期とスポーツ＞	1後	2			1					
		発達心理学	3前		2						1	
		子どもとスポーツ活動（含スポーツ障害）	2前		2						1	
		学校保健（含小児保健）	3後		2						1	
		精神保健	2後		2		1					
ス ポ ー ツ 学 科 目	ス ポ ー ツ 学	スポーツ倫理・原理（含スポーツ法）	1前	2							1	
		スポーツ社会学	2前		2						1	
		スポーツマネジメント	3後		2						1	
		生涯スポーツ論（含スポーツ行政）	4前		2						1	
	ス ポ ー ツ 学 科 目	スポーツ心理学＜基礎＞	2前		2						1	
		スポーツ心理学＜応用＞	2後		2						1	
		バイオメカニクス	2後		2				1			
		スポーツバイオメカニクス	3前		2				1			
		トレーニング科学＜基礎＞	1後	2				1				
		トレーニング科学＜発展＞	2前		2			1				
		トレーニング演習・実習	2後		2			1			1	
		スポーツコーチング論＜基礎＞	2前		2			1				
		スポーツコーチング論＜発展＞	2後		2			1				
		スポーツ栄養論＜基礎＞	2後		2						1	
ス ポ ー ツ 学 科 目	スポーツ栄養論＜応用＞	3前		2						1		
	スポーツ科学演習・実験	3前		2		2		1		1		
	ス ポ ー ツ 医 学	基礎解剖生理学	1前	2							1	
		機能解剖学＜骨格系＞	3前		2						1	
		機能解剖学＜関節と運動＞	3後		2						1	
		運動生理学	2前	2			1					
スポーツ生理学		3前		2						1		
コンディショニング論		2前		2		1						
衛生・公衆衛生学		3前		2						1		
スポーツ衛生学		4後		2						1		
スポーツ医学		2後		2		1						
ヘルスケアスポーツ医学	3前		2		1							

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
現代 力 形 成 教 養 基 礎 科 目	人間 力 形 成	大学論	1前	2								2
		人間力形成＜対話・表現系＞	1前		2							2
		人間力形成＜環境・生態系＞	2前		2		1					1
		人間力形成＜公共・社会系＞	2後		2							2
		人間力形成＜政治・経済系＞	3前		2			1				
		人間力形成＜災害・救援系＞	3後		2							2
		人間力形成＜芸術・文化系＞	4後		2							2
		人間力総合演習	2									1
		現代人間論＜人間図鑑＞	1前	2								1
	基礎 教 養	情報基礎演習	1前	2								3
		情報応用演習(含統計処理)	1後		2							3
		英語コミュニケーション＜基礎＞	1前	2				1				4
		英語コミュニケーション＜発展＞	1後		2				1			3
		総合英語	2前		2							3
		韓国語	4前		2							1
		中国語	4前		2							1
		スペイン語	4前		2							1
		哲学＜読書・鑑賞論＞	1前		2							3
		近・現代史	4前		2							1
	人間・社会と法(含社会倫理)	4後		2							2	
	留 学 生	日本語＜基礎＞	1前				2					1
		日本語＜発展＞	1後				2					1
		日本の伝統と現代文化	1後				2					2
		小計(23科目)	—	10	30	6	0	1	—	0	0	22
専 門 教 育 科 目	(学 部 共 通 学)	健康科学概論(含健康管理)	1前	2				1				1
		健康心理学	2前	2				1				
		加齢学	3前		2							1
		健康リフレッシュ学	4後	2								1
		体力測定・評価(含体力論)	2後	2				1				
	発 育 発 達	発育発達論＜青少年期とスポーツ＞	1後	2				1				
		発達心理学	3前		2							1
		子どもとスポーツ活動(含スポーツ障害)	2前		2							1
		学校保健(含小児保健)	3後		2							1
		精神保健	2後		2			1				
	ス ポ ー ツ 学	スポーツ倫理・原理(含スポーツ法)	1前	2								1
		スポーツ社会学	2前		2							1
		スポーツマネジメント	3後		2							1
		生涯スポーツ論(含スポーツ行政)	4前		2							1
		スポーツ心理学＜基礎＞	2前		2							1
		スポーツ心理学＜応用＞	2後		2							1
		バイオメカニクス	2後		2							
		スポーツバイオメカニクス	3前		2					1		
		トレーニング科学＜基礎＞	1後	2				1				
		トレーニング科学＜発展＞	2前		2				1			
		トレーニング演習・実習	2後		2				1			1
		スポーツコーチング論＜基礎＞	2前		2							
		スポーツコーチング論＜発展＞	2後		2						1	
		スポーツ栄養論＜基礎＞	2後		2							1
スポーツ栄養論＜応用＞	3前		2							1		
スポーツ科学演習・実験	3前		2			2		1		1		
ス ポ ー ツ 医 学	基礎解剖生理学	1前	2				1					
	機能解剖学＜骨格系＞	3前		2			1				1	
	機能解剖学＜関節と運動＞	3後		2			1				1	
	運動生理学	2前	2				1					
	スポーツ生理学	3前		2							1	
	コンディショニング論	2前		2			1					
	衛生・公衆衛生学	3前		2							1	
	スポーツ衛生学	4後		2							1	
	スポーツ医学	2後		2			1					
	ヘルスケアスポーツ医学	3前		2			1					

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	助手	
専門	スポーツ障害論＜基礎＞	3前	2			1						
	スポーツ障害論＜応用＞	3後		2		1						
	安全・救急法	1前		2		1						
	スポーツ救急・安全法	4前		2		1						
	スポーツマッサージ・テーピング	3前		2		1						
	アスレティックトレーナー概論	1前		2		1						
	アスレティックリハビリテーション論	3後		2								1
	競技スポーツ概論	1前		2								1
	競技スポーツ各論（含セカンドキャリア教育）	1後		2					1			
	競技スポーツツール論（含ハラスメント防止及びアンチドーピング）	2前		2								1
門	スポーツ史	1後		2								1
	体育実技Ⅰ指導法	1通		2			2					2
	体育実技Ⅱ指導法	2通		2			1		1			2
	体育実技Ⅲ指導法	3通		2		1	1					2
	体育実技Ⅳ指導法	4通		2								4
	体育実技Ⅴ指導法	1前		1		1						1
	競技スポーツ活動・指導法＜導入＞	1後		2			1		3			1
	競技スポーツ活動・指導法＜基礎前期＞	2前		2			1		3			1
	競技スポーツ活動・指導法＜基礎後期＞	2後		2			1		3			1
	競技スポーツ活動・指導法＜応用前期＞	3前		2			1		3			1
教	競技スポーツ活動・指導法＜応用中期＞	3後		2			1		3			1
	競技スポーツ活動・指導法＜応用後期＞	4前		2			1		3			1
	検査・測定と評価＜基礎＞	3後	2			1						
	検査・測定と評価＜応用＞	4前		2		1						
	コンディショニング実習＜トレーニング＞	3前		1								1
	コンディショニング実習＜テーピングと種目別コンディショニング＞	3後		1								1
	アスレティックトレーナー実習＜基礎＞	2前		1		1						
	アスレティックトレーナー実習＜発展＞	2後		1		1						
	アスレティックリハビリテーション実習＜前半＞	3後		1								1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1								1
科	アスレティックトレーナースポーツ現場実習	3前		1		1						
	アスレティックリハビリテーション現場実習	3前		1		1						
	アスレティックトレーナー総合実習	4前		2		1						
	専門基礎演習＜高大接続＞	1前	2			2	2		1			
	専門基礎演習＜初年次教育＞	1後	2			2	2		1			
	専門基礎演習＜将来設計＞	2前	2			1	2		2			
	専門基礎演習＜専門分野＞	2後	2			1	2		2			
	専門演習	3通	4			4	4		3			
	卒業研究	4通	6			4	4		3			
	社会福祉概論	2後		2								1
目	介護等実習（含事前・事後指導）	3通		1								1
	小計（77科目）	—	40	110	0	6	4	—	3	0		25
	合計（100科目）	—	50	140	6	6	5	—	3	0		42
	卒業要件及び履修方法											
	現代教養科目の必修科目10単位及び選択必修科目4単位以上、専門教育科目の必修科目40単位及び選択必修科目から5単位以上を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））											

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	助手	
専門	スポーツ障害論＜基礎＞	3前	2			1						
	スポーツ障害論＜応用＞	3後		2		1						
	安全・救急法	1前		2		1						
	スポーツ救急・安全法	4前		2		1						
	スポーツマッサージ・テーピング	3前		2		1						
	アスレティックトレーナー概論	1前		2		1						
	アスレティックリハビリテーション論	3後		2								1
	競技スポーツ概論	1前		2								1
	競技スポーツ各論（含セカンドキャリア教育）	1後		2						1		
	競技スポーツツール論（含ハラスメント防止及びアンチドーピング）	2前		2								1
門	スポーツ史	1後		2								1
	体育実技Ⅰ指導法	1通		2			1			1		2
	体育実技Ⅱ指導法	2通		2				2			2	2
	体育実技Ⅲ指導法	3通		2				1				1
	体育実技Ⅳ指導法	4通		2								4
	体育実技Ⅴ指導法	1前		1		1						1
	競技スポーツ活動・指導法＜導入＞	1後		2				3		1		1
	競技スポーツ活動・指導法＜基礎前期＞	2前		2				3		1		1
	競技スポーツ活動・指導法＜基礎後期＞	2後		2				3		1		1
	競技スポーツ活動・指導法＜応用前期＞	3前		2				3		1		1
教	競技スポーツ活動・指導法＜応用中期＞	3後		2				3		1		1
	競技スポーツ活動・指導法＜応用後期＞	4前		2				3		1		1
	検査・測定と評価＜基礎＞	3後	2			1						
	検査・測定と評価＜応用＞	4前		2		1						
	コンディショニング実習＜トレーニング＞	3前		1			1					1
	コンディショニング実習＜テーピングと種目別コンディショニング＞	3後		1			1					1
	アスレティックトレーナー実習＜基礎＞	2前		1		1						
	アスレティックトレーナー実習＜発展＞	2後		1		1						
	アスレティックリハビリテーション実習＜前半＞	3後		1			1					1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1								1
科	アスレティックトレーナースポーツ現場実習	3前		1		1						
	アスレティックリハビリテーション現場実習	3前		1		1						
	アスレティックトレーナー総合実習	4前		2		1						
	専門基礎演習＜高大接続＞	1前	2				1	3		1		
	専門基礎演習＜初年次教育＞	1後	2					1	3		1	
	専門基礎演習＜将来設計＞	2前	2					2	3			
	専門基礎演習＜専門分野＞	2後	2					2	3			
	専門演習	3通	4					6	5		1	
	卒業研究	4通	6					6	5		1	
	社会福祉概論	2後		2								1
目	介護等実習（含事前・事後指導）	3通		1								1
	小計（77科目）	—	40	110	0	7	5	—	2	1		22
	合計（100科目）	—	50	140	6	7	5	—	2	1		41
	卒業要件及び履修方法											
	現代教養科目の必修科目10単位及び選択必修科目4単位以上、専門教育科目の必修科目40単位及び選択必修科目から5単位以上を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））											

【令和5年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
現代 形成 												

【令和4年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
現代 形成 												

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門	スポーツ障害論＜基礎＞	3前	2			1					
	スポーツ障害論＜応用＞	3後		2		1					
	安全・救急法	1前		2		1					
	スポーツ救急・安全法	4前		2		1					
	スポーツマッサージ・テーピング	3前		2		1					
	アスレティックトレーナー概論	1前		2		1					
	アスレティックリハビリテーション論	3後		2							1
	競技スポーツ概論	1前		2							1
	競技スポーツ各論(含セカンドキャリア教育)	1後		2					1		
	競技スポーツツール論(含ハラスメント防止及びアンチドーピング)	2前		2							1
教	スポーツ史	1後		2							1
	体育実技Ⅰ指導法	1通		2			1				3
	体育実技Ⅱ指導法	2通		2					1		3
	体育実技Ⅲ指導法	3通		2		1	1				2
	体育実技Ⅳ指導法	4通		2							4
	体育実技Ⅴ指導法	1前		1							2
	競技スポーツ活動・指導法＜導入＞	1後		2			2		2		1
	競技スポーツ活動・指導法＜基礎前期＞	2前		2			2		2		1
	競技スポーツ活動・指導法＜基礎後期＞	2後		2			1		3		1
	競技スポーツ活動・指導法＜応用前期＞	3前		2			1		3		1
科	競技スポーツ活動・指導法＜応用中期＞	3後		2			1		3		1
	競技スポーツ活動・指導法＜応用後期＞	4前		2			1		3		1
	検査・測定と評価＜基礎＞	3後	2			1					
	検査・測定と評価＜応用＞	4前		2		1					
	コンディショニング実習＜トレーニング＞	3前		1							1
	コンディショニング実習＜テーピングと種目別コンディショニング＞	3後		1							1
	アスレティックトレーナー実習＜基礎＞	2前		1		1					
	アスレティックトレーナー実習＜発展＞	2後		1		1					
	アスレティックリハビリテーション実習＜前半＞	3後		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
目	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
その他	専門基礎演習＜高大接続＞	1前	2			1	2		2		
	専門基礎演習＜初年次教育＞	1後	2			1	2		2		
	専門基礎演習＜将来設計＞	2前	2			1	3		1		
	専門基礎演習＜専門分野＞	2後	2			1	3		1		
	専門演習	3通	4			4	4		3		
	卒業研究	4通	6			4	4		3		
	社会福祉概論	2後		2							1
	介護等実習(含事前・事後指導)	3通		1							1
	小計(77科目)	—	40	110	0	6	5	—	2	0	27
	合計(100科目)	—	50	140	6	6	5	—	2	0	45

卒業要件及び履修方法

現代教養科目の必修科目10単位及び選択必修科目4単位以上、専門教育科目の必修科目40単位及び選択必修科目から5単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：49単位(年間))

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門	スポーツ障害論＜基礎＞	3前	2			1					
	スポーツ障害論＜応用＞	3後		2		1					
	安全・救急法	1前		2		1					
	スポーツ救急・安全法	4前		2		1					
	スポーツマッサージ・テーピング	3前		2		1					
	アスレティックトレーナー概論	1前		2		1					
	アスレティックリハビリテーション論	3後		2							1
	競技スポーツ概論	1前		2							1
	競技スポーツ各論(含セカンドキャリア教育)	1後		2						1	
	競技スポーツツール論(含ハラスメント防止及びアンチドーピング)	2前		2							1
教	スポーツ史	1後		2							1
	体育実技Ⅰ指導法	1通		2			1				3
	体育実技Ⅱ指導法	2通		2					1		2
	体育実技Ⅲ指導法	3通		2		1	1				2
	体育実技Ⅳ指導法	4通		2							4
	体育実技Ⅴ指導法	1前		1					1		1
	競技スポーツ活動・指導法＜導入＞	1後		2			2		2		1
	競技スポーツ活動・指導法＜基礎前期＞	2前		2			1			3	1
	競技スポーツ活動・指導法＜基礎後期＞	2後		2			1			3	1
	競技スポーツ活動・指導法＜応用前期＞	3前		2			1			3	1
科	競技スポーツ活動・指導法＜応用中期＞	3後		2			1			3	1
	競技スポーツ活動・指導法＜応用後期＞	4前		2			1			3	1
	検査・測定と評価＜基礎＞	3後	2			1					
	検査・測定と評価＜応用＞	4前		2		1					
	コンディショニング実習＜トレーニング＞	3前		1							1
	コンディショニング実習＜テーピングと種目別コンディショニング＞	3後		1							1
	アスレティックトレーナー実習＜基礎＞	2前		1		1					
	アスレティックトレーナー実習＜発展＞	2後		1		1					
	アスレティックリハビリテーション実習＜前半＞	3後		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
目	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
	アスレティックリハビリテーション実習＜後半＞	4前		1							1
その他	専門基礎演習＜高大接続＞	1前	2			2	1		2		
	専門基礎演習＜初年次教育＞	1後	2			2	1		2		
	専門基礎演習＜将来設計＞	2前	2			1	2		2		
	専門基礎演習＜専門分野＞	2後	2			1	2		2		
	専門演習	3通	4			4	4		3		
	卒業研究	4通	6			4	4		3		
	社会福祉概論	2後		2							1
	介護等実習(含事前・事後指導)	3通		1							1
	小計(77科目)	—	40	110	0	6	4	—	2	0	25
	合計(100科目)	—	50	140	6	6	5	—	2	0	42

卒業要件及び履修方法

現代教養科目の必修科目10単位及び選択必修科目4単位以上、専門教育科目の必修科目40単位及び選択必修科目から5単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：49単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講**となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。**
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和6年度】（新）→【令和5年度】（新）→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】（旧）→【令和5年度】（旧）

（1）—②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- 村山大輔准教授の就任辞退により、「体育実技Ⅰ指導法」の専任教員配置を「准教授2」から「准教授1」及び「兼任・兼任3」に変更。
- 上島久明助教の昇任により、「競技スポーツ活動・指導法＜導入＞」の専任教員配置を「助教3」から「助教2」及び「准教授2」に変更。
- 村山大輔准教授の就任辞退により、「専門基礎演習＜高大接続＞」及び「専門基礎演習＜初年次教育＞」の専任教員配置を「准教授2」から「准教授1」及び「助教3」に変更。

【令和5年度】

- 石田芳弘兼任講師の就任辞退により、「人間力形成＜公共・社会系＞」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に、「現代人間論＜人間図鑑＞」の教員配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- 村山大輔准教授の就任辞退により、「体育実技Ⅱ指導法」の専任教員配置を「准教授1」から「兼任・兼任3」に、「スポーツコーチング論＜発展＞」の専任教員配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- 高橋淳一郎教授の体調不良により、「体育実技Ⅴ」の専任教員配置を「教授1」から「兼任・兼任2」に変更。
- 上島久明助教の昇任により、「競技スポーツ活動・指導法＜導入＞」及び「競技スポーツ活動・指導法＜基礎前期＞」の専任教員配置を「助教3」から「助教2」及び「准教授2」。
- 「専門基礎演習＜将来設計＞」及び「専門基礎演習＜専門分野＞」の専任教員配置を「助教2」から「准教授3」に変更。
- 笹竹英穂教授（大学院研究科長）の負担軽減により、「専門基礎演習＜高大接続＞」及び「専門基礎演習＜初年次教育＞」の専任教員配置を「教授2」から「教授1」及び「准教授2」に変更。

【令和6年度】

- 前野兼担教授の担当コマ数の調整により、「情報基礎演習」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- 水谷未来助教の昇任により、「バイオメカニクス」及び「スポーツバイオメカニクス」の専任教員配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- 宮澤太機准教授の昇任により、「トレーニング科学＜基礎＞」及び「トレーニング科学＜発展＞」の専任教員配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- 北川章兼担教授の就任辞退により、「基礎解剖生理学」、「機能解剖学＜骨格系＞」及び「機能解剖学＜関節と運動＞」の教員配置を「兼任・兼任1」から専任教員配置を「教授1」に変更。
- 村山大輔兼任講師の就任辞退に伴い、後任の採用及び宮澤太機准教授の昇任により、「体育実技Ⅰ指導法」の専任教員配置「准教授1」及び教員配置「兼任・兼任3」を専任教員配置「教授1・助教1」及び教員配置「兼任・兼任2」に変更、「体育実技Ⅱ指導法」の専任教員配置「助教1」及び教員配置「兼任・兼任3」から専任教員配置「助教2」及び教員配置「兼任・兼任2」に変更。
- 新井翔太兼任講師の就任辞退により、「体育実技Ⅲ指導法」の専任教員配置「教授1」及び教員配置「兼任・兼任2」から専任教員配置「教授2」及び教員配置「兼任・兼任1」に変更。
- 水谷未来助教の昇任により、「競技スポーツ活動・指導法＜導入＞」、「競技スポーツ活動・指導法＜基礎前期＞」、「競技スポーツ活動・指導法＜基礎後期＞」、「競技スポーツ活動・指導法＜応用前期＞」、「競技スポーツ活動・指導法＜応用中期＞」及び「競技スポーツ活動・指導法＜応用後期＞」の専任教員配置を「准教授2・助教2」から「准教授3・助教1」に変更。
- 東千夏兼任講師を当該学科の助手として採用したため、「コンディショニング実習＜トレーニング＞」及び「コンディショニング実習＜テーピングと種目別コンディショニング＞」の専任教員配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- 水谷未来助教の昇任により、「専門基礎演習＜高大接続＞」及び「専門基礎演習＜初年次教育＞」の専任教員配置を「助教2」から「准教授3」に変更。
- 宮澤太機准教授及び水谷未来助教の昇任により、「専門基礎演習＜将来設計＞」及び「専門基礎演習＜専門分野＞」の専任教員配置を「教授1・准教授3・助教1」から「教授2・准教授3・助教0」に変更。
- 岡川暁教授及び村山大輔准教授の就任辞退、笹竹英穂教授（大学院研究科長）の負担軽減、宮澤太機准教授及び水谷未来助教の昇任、及び学生指導を充実させるため、「専門演習」及び「卒業研究」の専任教員配置を「教授4・准教授4、助教3」から「教授6・准教授5・助教1」に変更。

- （注）
- 2（1）—① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	75 科目	3 科目	100 科目	22 科目 []	75 科目 []	3 科目 []	100 科目 []	(記入例：指定規則の場合) 【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計 (A) ○科目 変更状況：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計○科目

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{100} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1)校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	41,823.27㎡	0㎡ 41,823.27㎡	㎡	41,823.27㎡	至学館大学短期大学部 と共用 至学館短期大学部廃止 のため（６）			
	運動場用地	41,292.03㎡	0㎡ 41,292.03㎡	㎡	41,292.03㎡				
	小 計	83,115.30㎡	0㎡ 83,115.30㎡	㎡	83,115.30㎡				
	そ の 他	1,610.35㎡	0㎡ 1,610.35㎡	㎡	1,610.35㎡				
	合 計	84,725.65㎡	0㎡ 84,725.65㎡	㎡	84,725.65㎡				
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	至学館大学短期大学部 と共用 至学館短期大学部廃止 のため（６）				
	23,122.21㎡ （ 14,158.29㎡）	0㎡ （ 7,021.41㎡）	0㎡ （ 1,942.51㎡）	23,122.21㎡ （ 23,122.21㎡）					
(3)教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	33室	14室	36室	3室 （補助職員 0人）	1室 （補助職員 0人）				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	健康科学部 体育科学科			14 室					
(5)図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科単位での特定不能 なため、大学全体の数 電子ジャーナル：価格 高騰により購入誌を絞 ることとなった。代替 としてILLでの洋雑誌 複写の費用を図書館で 負担することとした。 （６） 視聴覚資料：コロナ禍 以降視聴覚資料の利用 が低下したため、当初 予定よりも購入数を抑 え、電子図書の購入費 に充てることとした。 （６）	
	健康科学部 体育科学科	188,244〔24,756〕 (185,533〔24,600〕) -(183,444〔24,356〕)	(970〔288〕) -(954〔288〕) (970〔288〕) -(954〔288〕)	(5〔3〕) -(10〔10〕) (5〔3〕) -(10〔10〕)	(4,335) -(4,345) (4,335) -(4,345)	1,828 (1,825)	68 (68)		
	計	188,244〔24,756〕 (185,533〔24,600〕) -(183,444〔24,356〕)	(970〔288〕) -(954〔288〕) (970〔288〕) -(954〔288〕)	(5〔3〕) -(10〔10〕) (5〔3〕) -(10〔10〕)	(4,335) -(4,345) (4,335) -(4,345)	1,828 (1,825)	68 (68)		
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			至学館大学短期大学部 と共用 至学館短期大学部廃止 のため（６） 閲覧座席数：スタディ ルームをラーニングコ モンズ的に使用するた め、従来の閲覧席から 移動可能な机と椅子へ 変更した。これに伴い 閲覧座席数が減少し た。（６）	
	1,178.48㎡		158 474		197,000				
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					至学館大学短期大学部 と共用 至学館短期大学部廃止 のため（６）	
	7,978.36㎡		陸上競技場（第4種公認）、野球場、プール（25m×6コース）、テニス 場、弓道場、サッカー場						
(8)経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	400千円	400千円	図書購入費	4,242千円	4,242千円	4,242千円	
	共 同 研 究 費 等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	12,016千円	12,760千円	15,774千円		
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,410千円	1,190千円	1,190千円	1,160千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- （注）
- ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。）
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	至学館大学							収容定員充足率0.7倍以下の 学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上 の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考
健康科学部	4	390	年次 人	1,595	-	1.08	-	-	平成7	-	
健康スポーツ科 学科	4	150	-	630	学士 (健康スポーツ科学)	1.11	-	-	平成7	愛知県大府市横根 町名高山55番地	
体育科学科	4	100	-	400	学士 (体育科学)	1.12	-	令和4	令和4	同上	
栄養科学科	4	80	-	320	学士 (栄養科学)	1.04	-	-	平成7	同上	
こども健康・教育 学科	4	60	-	245	学士 (こども学)	0.97	-	-	平成22	同上	
大学全体	4	390	-	1,595	-	1.08	-	-	-	-	

大 学 の 名 称								収容定員充足率0.7倍以下の 学科数	-	収容定員充足率1.15倍以上 の学科数	-
-----------	--	--	--	--	--	--	--	-----------------------	---	------------------------	---

大 学 の 名 称								収容定員充足率0.7倍以下の 学科数	-	収容定員充足率1.15倍以上 の学科数	-
-----------	--	--	--	--	--	--	--	-----------------------	---	------------------------	---

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

(1) 一① 担当教員表

15

【認可時又は届出時】			【令和4年度】			【令和5年度】			【令和6年度】			【令和7年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	前野 博 ＜令和4年4月＞ 教育学修士 情報基礎演習 情報応用演習（含統計処理）	兼任	教授	前野 博 ＜令和4年4月＞ 教育学修士 情報基礎演習 情報応用演習（含統計処理）	兼任	教授	前野 博 ＜令和4年4月＞ 教育学修士 情報基礎演習 情報応用演習（含統計処理）						
兼任	教授	松崎 邦守 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 英語コミュニケーション＜基礎＞ 英語コミュニケーション＜発展＞ 総合英語	兼任	教授	松崎 邦守 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 英語コミュニケーション＜基礎＞ 英語コミュニケーション＜発展＞ 総合英語	兼任	教授	松崎 邦守 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 英語コミュニケーション＜基礎＞ 英語コミュニケーション＜発展＞ 総合英語						
兼任	教授	氏原 隆 ＜令和6年4月＞ 体育学修士 スポーツ心理学＜基礎＞ スポーツ心理学＜応用＞ スポーツ科学演習・実技 体育実技Ⅱ指導法 ※	兼任	教授	氏原 隆 ＜令和6年4月＞ 体育学修士 スポーツ心理学＜基礎＞ スポーツ心理学＜応用＞ スポーツ科学演習・実技 体育実技Ⅱ指導法 ※	兼任	教授	氏原 隆 ＜令和6年4月＞ 体育学修士 スポーツ心理学＜基礎＞ スポーツ心理学＜応用＞ スポーツ科学演習・実技 体育実技Ⅱ指導法 ※	兼任	教授	氏原 隆 ＜令和6年4月＞ 体育学修士 スポーツ心理学＜基礎＞ スポーツ心理学＜応用＞ スポーツ科学演習・実技 体育実技Ⅱ指導法 ※			
兼任	講師	氏原 隆 ＜令和5年4月＞ 体育学修士 スポーツ心理学＜基礎＞ スポーツ心理学＜応用＞ 体育実技Ⅱ指導法 ※	兼任	講師	氏原 隆 ＜令和5年4月＞ 体育学修士 スポーツ心理学＜基礎＞ スポーツ心理学＜応用＞ 体育実技Ⅱ指導法 ※	兼任	講師	氏原 隆 ＜令和5年4月＞ 体育学修士 スポーツ心理学＜基礎＞ スポーツ心理学＜応用＞ 体育実技Ⅱ指導法 ※						
兼任	教授	後藤 英之 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 衛生・公衆衛生学 スポーツ衛生学	兼任	教授	後藤 英之 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 衛生・公衆衛生学 スポーツ衛生学	兼任	教授	後藤 英之 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 衛生・公衆衛生学 スポーツ衛生学	兼任	教授	後藤 英之 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 衛生・公衆衛生学 スポーツ衛生学			
兼任	教授	大槻 洋也 ＜令和5年9月＞ 体育学士 社会福祉概論 介護等実習（含事前・事後指導）	兼任	教授	大槻 洋也 ＜令和5年9月＞ 体育学士 社会福祉概論 介護等実習（含事前・事後指導）	兼任	教授	大槻 洋也 ＜令和5年9月＞ 体育学士 社会福祉概論 介護等実習（含事前・事後指導）	兼任	教授	大槻 洋也 ＜令和5年9月＞ 体育学士 社会福祉概論 介護等実習（含事前・事後指導）			
兼任	教授	十枝内 厚次 ＜令和6年4月＞ 博士（体育科学） 加齢学 スポーツ生理学 体育実技Ⅳ指導法 ※	兼任	教授	十枝内 厚次 ＜令和6年4月＞ 博士（体育科学） 加齢学 スポーツ生理学 体育実技Ⅳ指導法 ※	兼任	教授	十枝内 厚次 ＜令和6年4月＞ 博士（体育科学） 加齢学 スポーツ生理学 体育実技Ⅳ指導法 ※	兼任	教授	十枝内 厚次 ＜令和6年4月＞ 博士（体育科学） 加齢学 スポーツ生理学 体育実技Ⅳ指導法 ※			
兼任	准教授	池田 琴恵 ＜令和5年9月＞ 博士（社会科学） 発達心理学	兼任	准教授	池田 琴恵 ＜令和5年9月＞ 博士（社会科学） 発達心理学	兼任	准教授	池田 琴恵 ＜令和5年9月＞ 博士（社会科学） 発達心理学						
兼任	准教授	内田（高橋） 智子 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学） 体育実技Ⅰ指導法 ※	兼任	准教授	内田（高橋） 智子 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学） 体育実技Ⅰ指導法 ※	兼任	准教授	内田（高橋） 智子 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学） 体育実技Ⅰ指導法 ※	兼任	准教授	内田（高橋） 智子 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学） 体育実技Ⅰ指導法 ※			
兼任	准教授	越智 久美子 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 大学語 人間力形成＜対話・表現系＞ 人間力形成＜芸術・文化系＞ 現代人間論＜人間関係＞ 哲学＜読書・鑑賞論＞ ※ 近・現代史 スポーツ史	兼任	准教授	越智 久美子 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 大学語 人間力形成＜対話・表現系＞ 人間力形成＜芸術・文化系＞ 現代人間論＜人間関係＞ 哲学＜読書・鑑賞論＞ ※ 近・現代史 スポーツ史	兼任	准教授	越智 久美子 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 大学語 人間力形成＜対話・表現系＞ 人間力形成＜芸術・文化系＞ 現代人間論＜人間関係＞ 哲学＜読書・鑑賞論＞ ※ 近・現代史 スポーツ史	兼任	准教授	越智 久美子 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 大学語 人間力形成＜対話・表現系＞ 人間力形成＜芸術・文化系＞ 現代人間論＜人間関係＞ 哲学＜読書・鑑賞論＞ ※ 近・現代史 スポーツ史			
兼任	准教授	河野 清司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） スポーツ倫理・原理（含スポーツ法） 生涯スポーツ論（含スポーツ行政）	兼任	准教授	河野 清司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） スポーツ倫理・原理（含スポーツ法） 生涯スポーツ論（含スポーツ行政）	兼任	准教授	河野 清司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） スポーツ倫理・原理（含スポーツ法） 生涯スポーツ論（含スポーツ行政）	兼任	准教授	河野 清司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） スポーツ倫理・原理（含スポーツ法） 生涯スポーツ論（含スポーツ行政）			
兼任	講師	河野 清司 ＜令和4年4月＞ 修士（体育学） スポーツ倫理・原理（含スポーツ法）	兼任	講師	河野 清司 ＜令和4年4月＞ 修士（体育学） スポーツ倫理・原理（含スポーツ法）	兼任	講師	河野 清司 ＜令和4年4月＞ 修士（体育学） スポーツ倫理・原理（含スポーツ法）						

19

【認可時又は届出時】			【令和4年度】			【令和5年度】			【令和6年度】			【令和7年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	後藤 克幸 <令和4年4月> 経済学士 人間力形成<対話・表現系> 人間力形成<芸術・文化系>	兼任	講師	後藤 克幸 <令和4年4月> 経済学士 人間力形成<対話・表現系> 人間力形成<芸術・文化系>	兼任	講師	後藤 克幸 <令和4年4月> 経済学士 人間力形成<対話・表現系> 人間力形成<芸術・文化系>	兼任	講師	後藤 克幸 <令和4年4月> 経済学士 人間力形成<対話・表現系> 人間力形成<芸術・文化系>			
兼任	講師	近藤 加奈恵 <令和4年4月> 短期大学 体育実技V指導法 ※	兼任	講師	近藤 加奈恵 <令和4年4月> 短期大学 体育実技V指導法 ※	兼任	講師	近藤 加奈恵 <令和4年4月> 短期大学 体育実技V指導法 ※	兼任	講師	近藤 加奈恵 <令和4年4月> 短期大学 体育実技V指導法 ※			
兼任	講師	中嶋 隆裕 <令和4年4月> 修士(デザイン学) 情報基礎演習 情報応用演習(含統計処理)	兼任	講師	中嶋 隆裕 <令和4年4月> 修士(デザイン学) 情報基礎演習 情報応用演習(含統計処理)	兼任	講師	中嶋 隆裕 <令和4年4月> 修士(デザイン学) 情報基礎演習 情報応用演習(含統計処理)	兼任	講師	中嶋 隆裕 <令和4年4月> 修士(デザイン学) 情報基礎演習 情報応用演習(含統計処理)			
兼任	講師	中村 彰子 <令和4年4月> 修士(芸術工学) 情報基礎演習	兼任	講師	中村 彰子 <令和4年4月> 修士(芸術工学) 情報基礎演習									
兼任	講師	水谷 秀雄 <令和4年4月> 修士(工学) 情報基礎演習 情報応用演習(含統計処理)	兼任	講師	水谷 秀雄 <令和4年4月> 修士(工学) 情報基礎演習 情報応用演習(含統計処理)	兼任	講師	水谷 秀雄 <令和4年4月> 修士(工学) 情報基礎演習 情報応用演習(含統計処理)	兼任	講師	水谷 秀雄 <令和4年4月> 修士(工学) 情報基礎演習 情報応用演習(含統計処理)			
兼任	講師	ルドルフ V ヒナントⅡ <令和4年4月> 学士(音楽教育学) 英語コミュニケーション<基礎>												
			兼任	講師	清口 夏夢 <令和4年4月> 修士(教育学) 英語コミュニケーション<基礎>									
兼任	講師	北田 豊治 <令和6年9月> 博士(保健学) 学校保健(含小児保健)	兼任	講師	北田 豊治 <令和6年9月> 博士(保健学) 学校保健(含小児保健)	兼任	講師	北田 豊治 <令和6年9月> 博士(保健学) 学校保健(含小児保健)	兼任	講師	北田 豊治 <令和6年9月> 博士(保健学) 学校保健(含小児保健)			
兼任	講師	河村 美樹 <令和5年9月> 学士(栄養科学) スポーツ栄養論<基礎> スポーツ栄養論<応用>	兼任	講師	河村 美樹 <令和5年9月> 学士(栄養科学) スポーツ栄養論<基礎> スポーツ栄養論<応用>	兼任	講師	河村 美樹 <令和5年9月> 学士(栄養科学) スポーツ栄養論<基礎> スポーツ栄養論<応用>						
兼任	講師	東 千夏 <令和6年4月> 学士(体育学) アスレティックリハビリテーション論 コンディショニング実習<トレーニング> コンディショニング実習<テーピングと種目別コンディショニング>	兼任	講師	東 千夏 <令和6年4月> 学士(体育学) アスレティックリハビリテーション論 コンディショニング実習<トレーニング> コンディショニング実習<テーピングと種目別コンディショニング>	兼任	講師	東 千夏 <令和6年4月> 学士(体育学) アスレティックリハビリテーション論 コンディショニング実習<トレーニング> コンディショニング実習<テーピングと種目別コンディショニング>						

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(適用年度については、各年度時点の情報として記入してください。)

① 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

② 各校の作成方法は「大学の設置に関する提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確拠としてください。

③ 「認可又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員数で(兼任・兼務教員を含む。)を満了年として記入して下さい。

そして、各年度ごとに**新規採用職員数を記入する欄**と**退職職員数を記入する欄**をそれぞれ記入してください。

※前年は、**それまでの年度の5月1日現在の職員数**を記入してください。

※専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(研))と兼任、兼任の順に記入してください。

※指定年度(令和5年前年度)及び令和4年度以前の数の記載は原則として除きます。

※指定年度の前年度より、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「相当科目対照表」の「旧課程科目番号」の所に設置後のカリキュラム(新カリキュラム)の科目番号を記入し、「新カリキュラム」の欄に旧課程科目番号を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・村山大輔准教授の就任辞退。当該教員の担当授業科目（体育実技Ⅰ指導法）については、同氏が令和4年4月より非常勤講師として就任し授業科目を担当。なお、その他の授業科目（専門基礎演習＜高大接続＞及び専門基礎演習Ⅱ＜初年次教育＞）は、令和5年4月に助教として就任予定の水谷未来兼任講師が担当。
- ・ルドルフⅤ ヒナントⅡ非常勤講師の就任辞退により、溝口夏歩非常勤講師に変更。
- ・上島久明助教が、令和4年4月に准教授に昇任。

【令和5年度】

- ・岡川 暁教授の退職。当該教員の担当授業科目については、令和5年4月1日付けで同研究分野の浅野幹也教授を新規採用し、その浅野教授が岡川教授の全ての授業科目を担当。
- ・笹竹英穂教授（大学院研究科長）の授業負担軽減。当該教員の担当授業科目「専門基礎演習＜高大接続＞」及び「専門基礎演習＜初年次教育＞」については、西沢富江准教授に変更。
- ・高橋淳一郎教授の体調不良。当該教員の担当授業科目「体育実技Ⅴ指導法」については、長田結衣非常勤講師に変更。
- ・村山大輔准教授の就任辞退。当該教員の担当授業科目「スポーツコーチング論＜発展＞」については、今井美希助教に変更。
- ・平田裕一教授の学内役職変更。当該教員の担当授業科目「人間力総合演習」については、久林直美教授に変更。
- ・相馬（早川） 秀美兼助教の体調不良。当該教員の担当授業科目「体育実技Ⅱ指導法」については、林 友里菜非常勤講師に変更。
- ・石田芳弘非常勤講師の就任辞退。当該教員の担当授業科目「人間力形成＜公共・社会系＞」については、竹下俊一兼担教授及び細谷正明非常勤講師に変更。
- ・中村彩子非常勤講師の就任辞退。当該教員の担当授業科目「情報基礎演習」については、杉原健一非常勤講師に変更。
- ・溝口夏歩非常勤講師の就任辞退。当該教員の担当授業科目「英語コミュニケーション＜基礎＞」については、平松千明非常勤講師に変更。

【令和6年度】

- ・笹竹英穂教授（大学院研究科長）の授業負担軽減。当該教員の担当授業科目「専門演習」及び「卒業研究」については、近藤精司教授に変更。
- ・高橋淳一郎教授の体調回復。「体育実技Ⅴ指導法」の一部を担当。
- ・北川 章兼担教授の退職。当該教員の担当授業科目「機能解剖学＜骨格系＞」及び「機能解剖学＜関節と運動＞」については、近藤精司教授及び長谷川美由紀非常勤講師に変更。
- ・よりきめ細かい学生指導をするため、「専門演習」及び「卒業研究」に、佐藤文能教授及び陳 麗華准教授を追加。
- ・宮澤太機准教授が令和6年4月に教授に昇任。
- ・村山大輔非常勤講師の就任辞退。当該教員の担当授業科目「体育実技Ⅰ指導法」及び「体育実技Ⅱ指導法」については、寺本明日香助教に変更。
- ・水谷未来助教が令和6年4月に准教授に昇任。
- ・前野 博兼担教授の担当コマ数の調整により、当該教員の担当授業科目「情報基礎演習」を楓 森博非常勤講師に、「情報応用演習（含統計処理）」を芝野あゆみ非常勤講師に変更。
- ・松崎邦守兼担教授の退職。当該教員の担当授業科目「英語コミュニケーション＜基礎＞」、「英語コミュニケーション＜発展＞」及び「総合英語」については、山田誠志兼担教授に変更。
- ・池田琴恵兼担教授の退職。当該教員の担当授業科目「発達心理学」については、川浦千明兼担助教に変更。
- ・久保賢志兼担助教の退職。当該教員の担当授業科目「スポーツ社会学」及び「スポーツマネジメント」については、八尋風太兼担助教に変更。
- ・相馬（早川） 秀美兼担助教の体調回復。「体育実技Ⅱ指導法」を担当。
- ・細谷正明非常勤講師の就任辞退。当該教員の担当授業科目「人間力形成＜公共・社会系＞」については、前田博子非常勤講師に変更。
- ・石田芳弘非常勤講師の就任辞退。当該教員の担当授業科目「日本の伝統と現代文化」については、金森由華兼担教授に変更。
- ・杉原健一非常勤講師の就任辞退。当該教員の担当授業科目「情報応用演習（含統計処理）」については、芝野あゆみ非常勤講師に変更。
- ・河村美樹非常勤講師の就任辞退。当該教員の担当授業科目「スポーツ栄養論＜基礎＞」及び「スポーツ栄養論＜応用＞」については、安藤大貴非常勤講師に変更。
- ・東 千夏非常勤講師の専任助手への採用。当該教員の担当授業科目「アスレティックリハビリテーション論」、「コンディショニング実習＜トレーニング＞」及び「コンディショニング実習＜テーピングと種目別コンディショニング＞」については、近藤精司教授及び長谷川美由紀非常勤講師に変更。
- ・石原杏莉非常勤講師の就任辞退。当該教員の担当授業科目「人間力形成＜災害・救援系＞」については、内藤 遥非常勤講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
9	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
6	5	—	3	14	0	7	5	—	2	14	1
(4)	(1)	(—)	0	(5)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
7	5	—	2	14	1	7	5	—	2	14	1
[1]	[0]	[—]	[Δ1]	[0]	[1]	[1]	[0]	[—]	[Δ1]	[0]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
68	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	村山 大輔	R4.3	選択	スポーツコーティング論<発展>	①	R4.3 退職のため就任辞退						
				選択	体育実技Ⅰ指導法	①							
				選択	体育実技Ⅱ指導法	①							
				必修	専門基礎演習<高大接続>	①							
				必修	専門基礎演習<初年次教育>	①							
				必修	専門演習	①							
				必修	卒業研究	①							
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	2	科目	必修	2	科目
		選択	3	科目	選択	0	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	0	科目	計	5	科目	計	2	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	岡川 暁	R5.3	必修	健康科学概論（含健康管理）	①	R5.3.31付け退職のため辞任（5）						
				選択	養育発達論（＜青少年とスポーツ＞）	①							
				必修	専門基礎演習＜将来設計＞	①							
				必修	専門基礎演習＜専門分野＞	①							
				必修	専門演習	①							
				必修	卒業研究	①							
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	9	科目	必修	5	科目
		選択	4	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	6	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{14} = 14.28 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
						該当なし	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし		

- (注) ▪ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
- 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<健康科学部 体育科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成13年度に「FD委員会」を設置し、平成29年度に各種委員会の再編を行い、「UD委員会」を設置した。
FDの運営については、「UD委員会」で運営方針・方策を検討・明示し、教員の中から学長がワーキンググループを組織する。なお、ワーキングメンバーは、学長が委嘱する。
ワーキンググループは、「UD委員会」で決定した運営方針・方策に基づき、具体的な研修内容について企画・立案し、「UD委員会」の議を経て、学長の承認のもとにその運営を行う。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

「UD委員会」は、教学担当理事、学長、副学長、研究科長、学部長、教務部長、入試・広報部長、経営管理局长及び経営管理局次長で構成され、原則毎週月曜日に開催している。

c 委員会の審議事項等

- ・教育理念の具現化に向けた研究・教育のビジョンに関する事項
- ・国際化教育に関する事項
- ・スポーツ振興とその強化に関する事項
- ・教育・研究を通じた社会連携・貢献に関する事項
- ・高大連携に関する事項
- ・研究所の運営に関する事項
- ・組織の管理・運営機能の整備・充実にに関する事項
- ・大学校舎、施設・設備等の教育環境に関する事項
- ・FD活動に関する事項
- ・SD活動に関する事項
- ・その他UDに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

平成29年から令和5年度のFD・SD研修会実施状況

年度	開催日	テーマ	出席率
平成29年度	平成29年9月20日	テーマ1：教職課程の質的向上を目指して ～教員養成課程におけるアクティブ・ラーニングの授業実践～	90.1%
		テーマ2：本学における国際化への取り組み	74.6%
	平成30年2月21日	テーマ2：eポートフォリオについて学ぶ	83.3%
平成30年度	平成30年5月16日	生き活きと学び研究し働けるハラスメントのない大学づくりのために	80.1%
令和元年度	令和元年9月18日	第3期大学評価の概要・内部質保証について	80.5%
	令和2年2月19日	本学の教育目標「人間力の形成」の推進にむけて	82.9%
令和2年度	令和2年9月23日	効果的遠隔授業の方法	82.9%
令和3年度	令和3年7月8日	成績評価（基準）の厳格化とGPAの活用	85.3%
令和4年度	令和4年7月20日	本学の教育理念「人間力の形成」の実現に向けて―人間力総合演習―	85.5%
	令和4年11月24日	教職員向けハラスメント研修	94.7%
令和5年度	令和5年9月20日	テーマ1：大学の財政状況について～会計基準と実態～	93.0%
		テーマ2：IR室の役割～リテンション率の改善をめざして～	93.0%
	令和6年2月21日	本学の教育理念「人間力の形成」の実現に向けて―人間力総合演習―	85.2%

b 実施方法

平成15年度からFD及びSDを目的とした勉強会を原則として毎年度9月に実施しており、FDについては、学長を含む本学専任教員を、SDについては、本学専任教職員を義務的研修としており、非常勤講師等は希望者のみが参加している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

a実施内容のとおり。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

令和2年度は、コロナ禍の影響もあってネット設備等の充実を図ったことから授業方法に関する調査を行った（回答率97.3%）。平成29年度に授業方法に関するFD研修を行った時点ではそれほど多くなかったアクティブラーニングや映像資料を用いた授業が、令和2年度には増加し、体験学習、グループ学習、相互評価、実験手順のマニュアル化、学生同士の測定体験、模擬授業、小テスト、デモンストレーション、ロールプレイング、ディスカッション、プレゼンテーション等、教員による授業方法への取り組みが多様化した。さらに、多くの教員が授業内容に合わせて複数の授業方法を展開していた（84.5%）。令和3年度に導入したGPA制度は、年々活用が進んでいるが、FD研修会で取り上げた内部質保証や成績評価（基準）の厳格化を考慮すべく各学科が検討を重ねている。

本学の教育理念「人間力の形成」を実現するために設置された人間力開発センターが中心となって、現代教養科目に開設している「人間力総合演習」（人間力を高めるための学外実習60時間を含む）の進め方や学外実習の受け入れ先の条件などに関する情報共有を図るためのFD研修や教授会報告などを通じて情報共有を行うとともに、学生個々の実習時間達成状況を指導教員に対して情報提供するなど、教職員が一丸となって学生指導に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートは、これまでに数回改定が行なわれ、第2期認証評価時点（令和3年）では、記名式のアンケートが実施されており、授業終了時に配付・回収し、試験成績が発表されたのち担当教員に戻されるという方法・状況で、授業及び教員単位の改善活動には役立つが大学全体の改善策を検討するデータにならないことから、UD委員会は新しい授業評価アンケートを作成することにした。令和3年度末に「授業改善のための基礎調査」として、学生が感じる「良い授業」と「良くない授業」について、また、学生の言葉使いに関する調査を行い、令和4年度に試行テストを実施、その後の活用方法などについて検討した上、令和5年度から本格的に実施（全学生・全授業を対象に前期及び後期の14週目に実施）している。令和5年度の実施結果については、年度末の教授会で報告し、アンケートにある自由記述については、教員個々や関係各所に知らせ改善に取り組んでいる。このアンケートには10項目の設問があり、今後4年間の推移をみながら大学全体の授業改善状況を把握する計画である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの集計結果は、本学のポータルサイト（GAKKAN net Court）内の掲示板に掲載し、学生・教職員へメールで公開を知らせている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康科学部体育学科の教育目標は、「健康の保持・増進を基礎とし、青少年期を中心とした競技スポーツ活動を安全で科学的にサポートするための指導者として豊かな人間性と高度な専門知識と実践力を身につけ、人々の健康実現に寄与できる人間の育成」であり、教育研究上の目的は、「青少年期を中心とした体育・スポーツ活動における指導者の資質を高め、安全で安心できる指導環境の確立とノウハウを教育研究することにより、競技力の向上を健全で科学的に行うための理論と技術を追求する」ことである。

この教育目標及び教育研究上の目的を達成するため、アドミッション・ポリシーに基づいた入学試験を実施し、開設2年目である令和6年度は、入学定員100名に対して119名が入学した。

今後は、カリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程を体系的に学ばせ、ディプロマ・ポリシーに基づく学位授与をすべく、日常的な点検・評価と改善・改革に取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和3年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審した際に作成した「点検・評価報告書」及び「評価結果」を公表している。

b 公表方法

大学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和3年に、公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合しているとの認証を受けた。なお、次回は令和10年度に受審する予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。